

匂いがもたらす記憶力の変化

概要

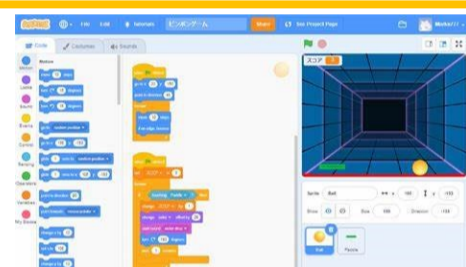
匂いには様々な人体への影響がある。その中で数種類の匂いを用いり記憶力との関係性について実験しまとめた。

目的

記憶力が向上する匂いを見つけることにより、朝の短時間で英単語や漢字の暗記を効率よく行い、少しでも点数を高くすることが目的である。

作成ツールの説明

Scratch3.0という無料で誰でも簡単にプログラミングができるサイトを使用した。



調査方法

実験①、スクラッチで作成した神経衰弱での実験をする。

実験②、実験①で一番記録が向上した匂いを使って実際の小テストで実験をする。

対象

実験①：情報コミュニケーション学科1～3年及び学校教員、
班員の親族及び知り合いの計**188名**

実験②：情報コミュニケーション学科3年**35名**

実験①

1. 実験のやり方を説明する。

2. においを嗅がずに神経衰弱をする。

3. 匂いの元を配り匂いを嗅ぎながら神経衰弱をする。

神経衰弱のルール：30秒間トランプの表画面を表示し、記憶し、画面表示が裏になったらトランプのペアをタップし、ペア数を記録する。3回間違えたら終了とする。

